

23 第 4 回全国有名国公私大模試 生物 採点基準

【統一事項】

1. 設問文の指示について

- ・設問文の指示に従っていない場合には適宜減点する。

2. 空欄補充・用語記述問題

- ・生物学用語について誤字・脱字がある場合→×(0点)
- ・教科書で一般に漢字表記の用語をひらがなで書いてある場合→○(できれば赤で訂正)
- ・不要な要素を含んで解答した場合→×(0点)
例：□腺という →内分泌○，内分泌腺×
- ・生物学用語で複数の表記，カタカナ表記の異体がある場合は，それぞれ正答とする(表記については教科書または生物学辞典を参照する)。
例1：腎細管○，細尿管○，尿細管○
例2：チロキシン○，サイロキシン○，甲状腺ホルモン○

3. 論述問題

(1) 論述内の誤字について

- ・生物学用語についての誤字がある場合
→誤字部分に下線を引き，誤字2つにつき-1点とする(できれば赤で訂正)。
ただし，ひらがなで正しく書いてある場合は減点なし。
- ・一般の誤字がある場合→減点はしない。
ただし，あまりに多いようであれば適宜減点する。

(2) 字数について

- ・5字以内の字数オーバー→減点はしない。
- ・6字以上の字数オーバー→-1点とする。

(3) 設問文中で用語指定がある場合

- ・指定された用語が使用されていない場合→用語1語につき適宜減点する

(4) 加点・減点について

- ・ある現象が起こるしくみや反応の経路などを順序立てて説明する設問では，個々の反応がすべて正しく書けていても，説明の順序が誤っている場合は加点しない。
例：A→B→C→Dの順に起こる反応を，A→B→D→Cの順で書いた場合，D→C部分は加点しない。
- ・文章が未完成の場合でも，加点部分があれば適宜加点する。未完成部分は減点しない。(ただし，満点にならないように考慮すること)
- ・明らかに文章として成立していない，意味が通らない，論理が成立していない部分は，加点・減点の対象としない。

4. 選択肢問題(番号・記号で解答する問題)

(1) 解答数が指示されている場合(「…1つ選べ」, 「…2つ選べ。」など)

ア. 指示された数よりも解答数が多い場合→正答を含んでいても 0点とする。

例: 『…2つ選べ。』(a と c が正答) の場合に解答数が 3 つならば

→ 『a, b, c』として全体で 0 点とする。

イ. 指示された数以内の解答数の場合→正答に応じて点を与える。

例 1: 『…2つ選べ。』(a と c が正答で「各 1 点 計 2 点」) のとき解答数が 1 つならば →

『a』として 1 点とする。

例 2: 『…2つ選べ。』(a と c が正答「完全解答 2 点」) の場合に解答数が 1 つならば → 『a』

と ×て 0 点とする。

(2) 解答数が指示されていない場合(「…すべて選べ」など)

ア. 解答数が正答数と同じ, または正答数より少ない場合→正答に応じて点を与える。

例: 正答数が 3 つ(a, c, d が正答「各 1 点 計 3 点」) の場合に, 解答数が 2 つならば

→ 『a, b』として全体で 1 点とする。イ. 解答数が正答数より多い場合→正答数より多い解答 1 つにつき, 0点まで 1点ずつ減点する。

例 1: 正答数が 2 つ(a, c が正答「各 1 点 計 2 点」) のとき解答数が 3 つならば

→ 『a, b, c』とし, 1 点減点して全体で 1 点とする。

例 2: 正答数が 2 つ(a, c が正答「各 1 点 計 2 点」) のとき解答数が 5 つならば

→ 『a, b, c, d, e』とし, 2 点減点して全体で 0 点とする。

【大問別補足事項】

1

問1

- 1:「水分」は不可。
2:「脂肪」は不可。

問3 2点×9=18点

A, B, C, D, F, H, I:それぞれ番号1点,書き換え1点(ただし、番号が誤りの場合は書き換えに点を与えない)

E, G:完全解答2点

〔内容の書き換えについて〕

C:「一部のリンパ球」等は不可。

D:「血液の凝固」でも可。

F:完全解答。

H:「細胞膜(上)」と「細胞内(部)」の両方の語がない場合は不可。「細胞内」は「細胞質基質や核内」でも可。

2

問3 3点 (30字以内)

(正答例) 抗生物質耐性遺伝子を含む DNA 断片が組み込まれた細胞。(27字)

- ・「抗生物質耐性遺伝子が(DNAに)組み込まれた細胞」,「抗生物質耐性遺伝子が導入された細胞」,「外来遺伝子や抗生物質耐性遺伝子が組み込まれた細胞」,「外来遺伝子が組み込まれた細胞」等でも可。
- ・遺伝子が「組み込まれた」,「導入された」という意味合いがない場合は-1点。(例:「抗生物質耐性遺伝子をもつ細胞」,「抗生物質に対する耐性をもつ細胞」)

問4

- (1) 「オーキシシン」は「インドール酢酸」「IAA」でも可。
「サイトカイニン」は「カイネチン」でも可。

(3) 2点 (20字以内)

(正答例) サイトカイニンの濃度比を高くする。(17字)

- ・「オーキシシンの濃度比を低くする」,「低オーキシシン・高サイトカイニンにする。」等の表現でも可。

問5

(2) 2点 (簡潔に)

(正答例) 高温でも失活しない。

- ・「耐熱性である」,「熱に強い」等の表現でも可。
- ・「最適温度が高い」は1点。

3

問 3

(1) 4: 「刷り込み」でも可。「刻印づけ」は訂正して可。

問 6

「サイン刺激」, 「合図刺激」は訂正して可。

問 9 3点 (30 字以内)

(正答例) 咽頭が食物に食いつく反応の抑制が, 脳の働きにより解除される。(30 字)

・「(空腹時には)咽頭が食物に食いつく反応は脳によって促進される。」でも可。

4

問 1

1: 「減数有糸」でも可。

5: 「細胞」「有糸」でも可。

問 3 「助胎細胞」でも可。

問 5

(1) 9: 「水分」も可。

問 6 「極性輸送」は訂正して可。

「極性」は不可。